

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

①賞与引当金は、職員に対する賞与の支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額から中小企業退職金共済給付額を控除した金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	3,518,022	79,947	0	3,597,969
減価償却引当資産	1,240,154	0	0	1,240,154
財政運営資金積立資産	15,290,664	0	0	15,290,664
合計	20,048,840	79,947	0	20,128,787

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3,597,969	(0)	(0)	(3,597,969)
減価償却引当資産	1,240,154	(0)	(1,240,154)	(0)
財政運営資金積立資産	15,290,664	(0)	(15,290,664)	(0)
合計	20,128,787	(0)	(16,530,818)	(3,597,969)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	1,240,155	1,240,154	1
合計	1,240,155	1,240,154	1

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取補助金等						
高年齢者就業機会確保事業費等補助金	連合会	—	6,836,000	6,836,000	—	—
雇用開発支援事業費等補助金	連合会	—	4,779,000	4,779,000	—	—
三木市シルバー人材センター事業補助金	市町村	—	11,615,000	11,615,000	—	—
合 計		—	23,230,000	23,230,000	—	